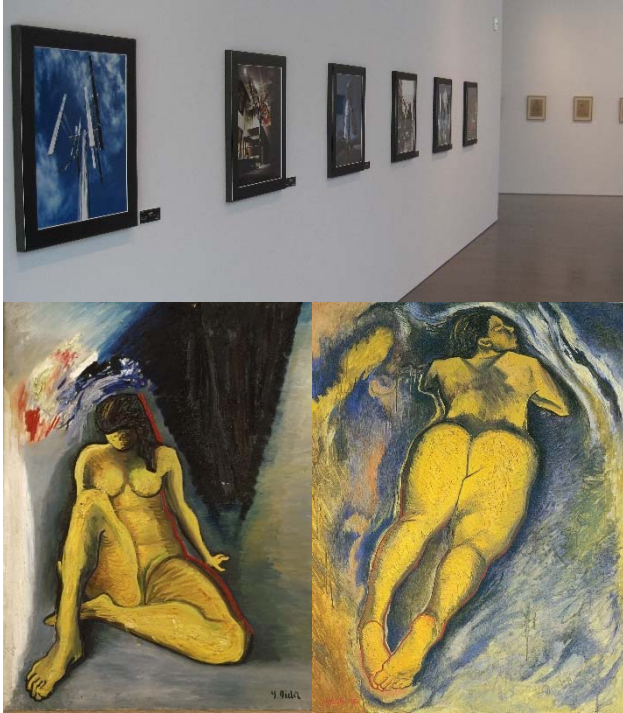


# 飯田善國展

## 多才なる生涯作品の道のり



### 多才なる生涯作品の道のり

戦後を代表する独創的な彫刻家の一人として知られている飯田ですが、その出発点は絵画でした。少年時代から様々な芸術に関心を寄せ、従兄から「絵は趣味でやる方がいいな」と油絵具をもらったのをきっかけに、絵画にのめり込みます。この頃少年時代の絵画、学徒出陣した際の中国戦線スケッチ、帰還後に本格的に画家を目指すようになった頃の裸婦画、絵の勉強のために向かったはずの渡欧先での版画作品、帰国後彫刻に専念するようになった頃の屋外彫刻作品（写真パネルにて）を展示しています。

生涯作品を追ってみると、これらの表現方法や表現されているものには、幼い頃に母を失い養子として従兄と育った複雑な家庭環境、壮絶な戦争体験や戦後の昂揚と挫折感、渡欧で出会った模範となる人物等、様々なバックグラウンドと時代が、深く結びついているはずです。

2016年6月 IIDA・KAN

### 飯田善國(いいだよくに)

1923（大正12）年、栃木県足利郡生まれ。慶應大学高等部から学徒出陣し中国大陸へ。戦後は同大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948（昭和23）年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956（昭和31）年、野上彌生子との縁でローマに留学しファツォーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。その後ウィーンに移り1959年には抽象裸婦連作を描くと、本格的に彫刻に転じ、ウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967（昭和42）年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属とロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外に広く知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。1997年7月、日本経済新聞「私の履歴書」連載。2006（平成18）年・没〔享年 82歳〕



- 開館時間：午前10時～午後4時・無休
- 交通：[電車]大糸線穂高駅から「ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで15分
- [車]長野自動車道安曇野インターより20分
- お問い合わせ：〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
- TEL 0263-83-6800(代) <http://www.hds.co.jp/>

IIDA・KAN

AZUMINO ART LINE  
安曇野アートライン  
当美術館は安曇野アートラインに参加しています



**TRIAD** 2000年、創立30周年を記念して、モーションコントロール分野で更に高次元の理想を追求するために、生産および測定環境のプロトタイプとなる『研究棟（のちにI・K KANと命名）』と、技術開発に携わる従業員の感性を高めるための『ギャラリー棟（のちにIIDA・KANと命名）』と高いセキュリティーを実現する『守衛棟』の三棟を建設しました。豊かな穂高の自然に溶け込みつつ、高度な技術的要求を独特のフォルムに包み込んだこの建築群に、設計・監修を担当した横総合計画事務所の横文彦氏より「三つの」を語源とし「三和音」を意味する『TRIAD』の名称が与えられました。

